

市民と市長との対話集会会議録【要旨】

※生成 AI による要約を行なっています。

令和8年1月15日 辻原地区に火葬場建設反対の会

(市長) 今日は対話集会にお集まりいただき感謝する。就任 2 年で 42 回目の対話集会である。一方的ではなく双方向の対話を進めたい。

(司会) 近隣市では人目につく場所に斎場は建てられていない。なぜ辻原地区が選ばれたのか。現在の中津川斎場の建て替えではなぜだめなのか。

(市長) 恵那峡ロードに面し利便性が良い。市全域から各葬儀場から距離的に近く偏りが無い。遠くても 40 分で来られる。平坦な土地でコストを抑えられる。

(市長) 令和 7 年 3 月末に地域から将来の活用を期待する声をいただいた。公共施設建設により地域発展につながると考え候補地とした。

(参加者) 辻原 1 組で反対メンバーである。選定理由は承知している。署名活動や意見書提出、議会陳情を行った。反対意見は聞かないと言われている。

(参加者) 中京学園跡地グラウンド周辺の既存施設改修でよりコスト安く早期開発できると提案した。現火葬場地区代表と話をした結果を報告する。

(参加者) 現火葬場建設時の約束が守られていないため新火葬場建設は受け入れられない。しかし約束が守られれば話に応じる用意があるとされた。

(参加者) 過去の約束を実行してから辻原に話を持ってくるべきである。建前論ではなく実際の対応を求める。これが主張の核心である。

(参加者) 昔の話は正確に知らない。現在の地区代表から聞いた話である。住民合意形成前の個人意見だが応じる用意があるとのことである。

(市長) 平成 27 年の東十八区総意として新設は受け入れられないとの回答を踏まえ、市は地元意向は変わっていないと捉えている。

(参加者) 始めればいいのか。

(司会) 他の方の意見はどうか。

(参加者) 十八区報告書では地域インフラ整備の遅れが要因とある。インフラ整備を進めれば了解を得られたのではないか。

(市長) インフラ整備要望に対し市は進める方向だったが、反対住民もいて手つかずになっている。区内でまとまりきれていない現状がある。

(市長) 何十年前の要望だが昨年からやる方向で話を進めている。反対の方の理解もいただきながら地域協力を得て進めている。

(参加者) 辻原は反対割合が非常に多い。特に 1 組は反対が多い。反対意見は聞かないという強引な進め方に別の目的が隠されていると感じる。

(参加者) 他候補地は考えないと新聞報道された。協議会でも反対意見は聞かないと言われている。強引な進め方の背景に疑問を持つ。

(参加者) 要望書にウェルネスによるコンパクトシティという行政用語が使われている。限られた人によるウェルネスビジネスとの利益誘導を疑う。

(司会) 他の話もあるので今の議題を中心にお願いします。

(参加者) 地域住民として火葬場建設に賛成反対の公式意見がまだ言えない状況である。住民アンケートでは 8 割が反対という結果が出ている。

(参加者) 行政として地域住民の声を聞く気があるのか。議会からの地域住民との話し合い要請は協議会のことか全住民のことか確認したい。

(市長) 議会の回答内容は感知していない。議会に聞いていただきたい。

(参加者) 議会返答を市長が渡すのがアクションポイントである。地域住民が賛成反対を意思表示できていないことをどう考えるか。

(市長) 署名を出していただいているのでそれも意思表示と考えている。

(参加者) それは地域ボランティアによる非公式調査である。行政として地域住民の賛成反対を調査する気があるのか。

(市長) 当然どこかのタイミングでしていかなければいけないと思う。

(参加者) どのタイミングか。建設決定後か。

(市長) そうではない。協議会で話をしていただいている。要望書作成中と聞いている。市で回答後、辻原の皆さんで判断する時に住民の賛成反対を聞く。

(参加者) 協議会設立前に賛成反対の意見表明チャンスがない。地域が分断される結果になっている。行政として全住民にアンケートを取ってほしい。

(参加者) 協議会のアンケートは夢のような辻原への要望で賛成反対を言う機会がなかった。これが心象を悪くしている原因である。

(参加者) 地域住民一人一人の賛成反対をクリアにしてから協議会で意見をまとめるのが本来の手順ではないか。

(市長) そこも含めて協議会の中で話していただければと思う。

(参加者) 協議会ありきではなく地域住民の考えを行政として確認してほしい。窓口を協議会だけに絞らず幅広く住民の声を聞いてほしい。

(参加者) 東 18 区でも一部反対者の声は小さくなっている。もう一度地域住民がどう考えているか確認していただきたい。

(参加者) 必要な施設だがありがた迷惑である。坂本北部 4 区に説明会を 1 回もしていない。なぜやらなかったのか。

(参加者) 候補地決定時点で坂本北部 4 区住民に声かけして説明すべきだった。50 年 60 年ここにある施設なので反対している。

(参加者) においが出ない保証は 100%言い切れるか。前の処理場も作る前にはにおいは出ないと言われたが今においている。

(市長) 100%は言い切れないところがあると思う。

(参加者) 新聞で候補地決定を知った。説明する機会を作らなかった理由は何か。

体育館で説明会は可能だったはずである。

(参加者) 自宅玄関を出たら火葬場という状況をどう思うか。はっきり答えてほしい。市の職員も皆嫌だと言っている。

(市長) 家の前にできれば説明も必要だと思う。どこかには必要だと思う。私はいい。

(参加者) 市長の前に街中に作ってほしい。候補地はまだ検討すればある。西山にもできるのではないか。

(参加者) 市の中心に近いというが1キロ行ったら恵那である。それでも市の真ん中に近いというのか。

(市長) 真ん中というか斎場から近い場所ということである。

(参加者) 40分は何基準か。誰かが40分圏内でないといけないと決めているのか。

(市長) 40分でないといけないという理由はない。

(参加者) やり方が気に入らない。決めてから地域住民に報告という形で新聞に載った。このやり方はおかしい。

(市長) 最終的に候補地をここにと決めたのは私の判断である。

(参加者) 住民に話をしてからにしてほしい。辻原だけでなく北部全体に説明すべきだった。

(参加者) この地域は川の下流で下水処理施設が2つある。迷惑施設をまた持つてくる理由がわからない。市全体で分散すべきである。

(参加者) 火葬場は下流地域に作る必要はない。山間地域で家が少ないところに作るべきである。民家があるところにわざわざ持つてくる必要はない。

(参加者) 最初のアンケートで火葬場建設の賛成反対を前提とした説明がなかつ

た。夢のような辻原アンケートの意味が不明だった。

(参加者) 受け入れ条件として要望を出してくださいという丁寧な説明がなかった。このやり方が市への不信を招いている。

(参加者) 要望書で市に判断を委ねるという持っていき方が納得いかない。組に何も諮っていない。住民の理解も得ていない。

(参加者) 市が裏であらかじめ決めているような感じがする。そんなことはないか確認したい。

(参加者) 市のやり方の順番がおかしいのではないか。

(司会) アンケート内容は「反対ではありませんが要望を書いてください」という文章だった。賛成反対ではなく要望を求める内容だった。

(市長) アンケートは市ではなく協議会で形を決めてやられている。質問内容ややり方は協議会で作られている。

(参加者) 最初の説明会でアンケートの話が出たと記憶している。検討委員会立ち上げ前に市からアンケートを取りたいという話があった。

(市長) 市が主体的にアンケートを取ったことは1回もない。

(参加者) 協議会メンバーにも市にも直接郵便で賛成反対の意見を聞くよう提案している。意見集約の仕方を改善してほしい。

(進行) 他の方でご意見ある方はいないか。

(参加者) 30年40年この場にあり続ける施設を1年2年で決めていいものか。突貫工事でやる理由が疑問である。

(司会) 他にいないか。

(参加者) 令和10年処理場移動まで3年間話し合うという最初の説明と違う。今年3月結論は最初の説明と異なる。

(司会) 他にあるか。

(参加者) 最終評価点一覧表の内容に疑問がある。地域理解度 61-81%は違う。地権者賛成 50%も疑問。要望費 3 億円以上は横並び。

(参加者) 道路環境 40 分以内、工事費、周辺環境の評価に疑問。発展性で辻原だけ 5 点満点はおかしい。部長級だけの評価で地元意見なし。

(参加者) 昭和 23 年墓地埋設法で人家から 216m 以上離すという規定がある。これをクリアできるか。地権者に反対者がいる中で計画通りいくか。

(参加者) 216m 以内に老人施設、学童施設、通学路がある。なぜここに無理やり持ってくるのか。町の中に市の土地はある。

(司会) 他にご意見はないか。

(参加者) 市長が自分の家の前にメモリアルができることに賛成と言った。ルビットタウン向かいの公園はどうか。整備不要で葬儀場から 3 分。

(参加者) 平面図で公園がなぜ火葬場に必要なのか。税金の無駄遣いではないか。処理場の公園も小さい子は遊ばない。

(参加者) 昼間保育園の子も来る。

(参加者) あるから来るだけで必要ない。税金の無駄遣い。何億もかかる。市長の家の前に作ろう。

(司会) ハザードマップの中にあるのになぜここに建てるのか。

(市長) ため池区域に指定されハザードマップ内にある。作れないわけではなく対策は可能で問題ない。県営ため池事業で耐震補強完了済み。

(市長) 災害リスクも軽減されている。河川改修検討でしっかり対策を取りハザードマップ内でも問題ないと捉えている。

(参加者) どのような対策が可能か具体的に教えてほしい。

(市長) 専門家ではないので具体的な改修方法はわからないが可能ということである。

(参加者) 実際可能でないかもしれない。大水で危険な箇所もある。市資料では擁壁改修とあるが川幅も深さも変わらず改修にならない。

(市長) 改修の仕方はまだ聞いていない。

(参加者) 擁壁改修だけでは川幅も変わらずハザードマップに対応しない。

(参加者) 施設が堤防になってより下流の被害が大きくなる可能性はないか。リニア工場からの排水路が辻原川に入っている。

(参加者) 工場の全コンクリート面からプール何十杯もの水が流れ込む。これは織り込み済みか。

(市長) 織り込み済みである。車両基地のことで JR も考えてやっている。

(参加者) 時間雨量 100 ミリの雨で対応できるか。何ミリの設計で大丈夫と言っているのか知りたい。

(市長) 今回答を持ち合わせていない。申し訳ない。

(参加者) 想定外の量で 20 ミリしか想定していませんでしたということにならないか。

(市長) 20 ミリとかそういうレベルではないと思う。

(参加者) 学童がそばにあり通学路があるのにここを選定できている理由は何か。

(市長) 法的にはクリアされていると捉えている。確認する。

(参加者) 建物設備はクリアしたが距離の規定は生きている。50 メートルもない

所に民家がある。厚生労働省相手にケンカを売れるか。

(参加者) 敷地の端からということなら違うような気がする。

(参加者) 施設を作る前提で話されている。もう一度候補地を住民判断を得てという気持ちはないか。

(市長) 候補地なのである。

(参加者) いろんな候補地を検討するという考えはないか。

(市長) いくつか上がってきた中で市としてここを候補地として決めた。

(参加者) 反対者がいっぱいいるのに突き進むつもりか。

(市長) ここを候補地として決めたのでまずはここで住民の皆さんにどうなのかということこれから。

(参加者) 法律でもクリアできていない。学童、老人施設、住宅の皆さんに全部移転してもらおうつもりか。

(市長) 法的にはクリアできているという解釈でいる。そこは確認する。

(司会) 時間になったので対話集会を終了する。